

Minako KISHI PIANO RECITAL

岸 美奈子 ピアノ・リサイタル
MOZART / SCHUMANN / FAURÉ / RAVEL



2008年6月1日(日) 午後2時開演
王子ホール

主催：岸美奈子・リサイタル実行委員会
協賛：東京藝術大学音楽学部 同声会東京支部
後援：ヨネックス株式会社/ロシア連邦大使館

主催：岸美奈子・リサイタル実行委員会
協賛：東京藝術大学音楽学部 同声会東京支部
後援：ヨネックス株式会社/ロシア連邦大使館

PROFILE Minako KISHI



岸 美奈子

3歳より母の手ほどきによりピアノを始める。
5歳より「桐朋学園子供のための音楽教室」に入室。
第16回全日本学生音楽コンクール東京大会
小学校の部奨励賞受賞。ツリウツツパルモル氏と共に。
第49回全日本学生音楽コンクール東京大会中学校の部第3位。
なかのあすべにミュージックフェスティバルで奨学生に選ばれ
米国コロラド州アスペンミュージックフェスティバルに参加。
1997年東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校入学。
第9回、第10回京都フランスアカデミーでファイナルコンサートに出演。
京都の第4回リレー音楽祭inアトリウムにおいてソロリサイタル。
フランスの第7回FRENCH PIANO INSTITUTEに参加し
奨学生に選ばれる。
2000年東京藝術大学音楽学部入学。
2001年モスクワ音楽院に留学。
翌年ザルツブルク・サマー・アカデミーにてコンサート出演。
2006年東京藝術大学音楽学部卒業。
現在武蔵野音楽大学非常勤講師
武蔵野音楽大学附属音楽教育講師として
後進の指導にもあたっている。
またイオン・グレルーシュ氏やアナスタシア・チェボタリョフ氏と
共演するなど、ソロ、室内楽、伴奏等で演奏活動を行っている。
これまでに渡部有子、三好春子、須田真美子、多美智子、
セルゲイ・ドレンスキー、東誠三各氏に師事。

本日はお忙しい中、
私のリサイタルにお越し頂き誠に有難うございます。
このリサイタルの実現に当たってご協力を戴いた皆様、
そしてこれまでご指導・ご支援して下さいました皆様、
そしてこれまでご借借りして頂く御礼申し上げます。
今日演奏させて頂くのは、
私にとって非常に心惹かれる作品ばかりです。
短い時間ではありますが、
皆様と共有出来るこのひと時に感謝し、
それぞれの作曲家が遺したメッセージを、
今の自分なりに最大限に表現する事が出来たら
これ程嬉しい事はありません。

岸 美奈子



Minako KISHI 岸 美奈子

PROFILE

3歳より母の手ほどきによりピアノを始める。
5歳より「桐朋学園子供のための音楽教室」に入室。
第16回全日本学生音楽コンクール東京大会
小学校の部奨励賞受賞。ツリウツツパルモル氏と共に。
第49回全日本学生音楽コンクール東京大会中学校の部第3位。
なかのあすべにミュージックフェスティバルで奨学生に選ばれ
米国コロラド州アスペンミュージックフェスティバルに参加。
1997年東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校入学。
第9回、第10回京都フランスアカデミーでファイナルコンサートに出演。
京都の第4回リレー音楽祭inアトリウムにおいてソロリサイタル。
フランスの第7回FRENCH PIANO INSTITUTEに参加し
奨学生に選ばれる。
2000年東京藝術大学音楽学部入学。
2001年モスクワ音楽院に留学。
翌年ザルツブルク・サマー・アカデミーにてコンサート出演。
2006年東京藝術大学音楽学部卒業。
現在武蔵野音楽大学非常勤講師
武蔵野音楽大学附属音楽教育講師として
後進の指導にもあたっている。
またイオン・グレルーシュ氏やアナスタシア・チェボタリョフ氏と
共演するなど、ソロ、室内楽、伴奏等で演奏活動を行っている。
これまでに渡部有子、三好春子、須田真美子、多美智子、
セルゲイ・ドレンスキー、東誠三各氏に師事。

PROGRAM

モーツァルト
ピアノ・ソナタ 第10番 ハ長調 K.330 (300h)
MOZART / Piano Sonata No.10 in C major K.330(300h)

シューマン
幻想曲 ハ長調 Op.17
R. SCHUMANN / Fantasie in C major Op.17

フォーレ
主題と変奏 嬰ハ短調 Op.73
FAURÉ / Thème et variations in C sharp minor Op.73

フォーレ
舟歌 第1番 イ短調 Op.26
FAURÉ / Barcarolle No.1 in A minor Op.26

フォーレ
即興曲 第2番 へ短調 Op.31
FAURÉ / Improromptu No.2 in F minor Op.31

ラヴェル
ラ・ヴァルス
RAVEL / La Valse

INFORMATION

予約・お問い合わせ 東京藝術大学音楽学部
東京文化会館チケットサービス

会場 劇場：王子ホール 中央区 TEL.03-3463-1111 URL:www.wj-hall.jp

交通アクセス JR「有楽町線」下車
地下鉄「副都心線」駅下車
地下鉄「副都心線」一丁目駅下車
地下鉄「東横線」駅下車

2008
6/1 SUN

午後1時30分開場
午後2時開演
王子ホール
全席自由 [当日券] ¥3,500円
[前売券] ¥3,000円

主催：岸美奈子・リサイタル実行委員会
後援：ヨネックス株式会社
ロシア連邦大使館
東京藝術大学音楽学部 同声会東京支部

PROGRAM

モーツァルト
ピアノ・ソナタ 第10番 ハ長調 K.330 (300h)
MOZART / Piano Sonata No.10 in C major K.330(300h)

第1楽章 — アレグロ モテワート
1st Mov. Allegro moderato

第2楽章 — アンダンテ カンタービレ
2nd Mov. Andante cantabile

第3楽章 — アレグレット
3rd Mov. Allegretto

シューマン
幻想曲 ハ長調 Op.17
R. SCHUMANN / Fantasie in C major Op.17

第1楽章 — きわめて幻想的にかつ情熱的に
1st Mov. Durchaus phantastisch und leidenschaftlich vorzutragen

第2楽章 — 中庸に、非常に精力的に
2nd Mov. Mäßig-durchaus energisch

第3楽章 — ゆっくりと、常に静けさをもって
3rd Mov. Langsam getragen-Durchweg leise zu halten

休憩

フォーレ
主題と変奏 嬰ハ短調 Op.73
FAURÉ / Thème et variations in C sharp minor Op.73

舟歌 第1番 イ短調 Op.26
FAURÉ / Barcarolle No.1 in A minor Op.26

即興曲 第2番 へ短調 Op.31
FAURÉ / Improromptu No.2 in F minor Op.31

ラヴェル
ラ・ヴァルス
RAVEL / La Valse

PROGRAM NOTE

半澤朝彦

W.A.Mozart (1756-1791)

ピアノ・ソナタ 第10番 ハ長調 K.330 (300h)

若くしてチャーミングで才能のある歌手、アロイシ・ウェーバーに心を奪われたモーツァルトだが、その恋には破れてしまう。その後、アロイシの妹である平凡なコンスタンツェと結婚したのは1782年のことである。生まれ育った小都市ザルツブルグから、帝国の首都であるウィーンに移り住み、人気演奏家、作曲家として安定した境地を開いていく。人生の難いも甘いも知ったそんな頃、モーツァルト27歳の1783年に作曲された。

I：着実な歩み。上品な変化が続き、ひと時も飽きさせない。
II：ときに舟歌のような、落ち着いた楽章。
III：明るいロンド風の主題によるソナタ形式。

R.A.Schumann (1810-1856)

「幻想曲」ハ長調 作品17

ドイツ・ロマン派の代表的な作曲家であるシューマンは、30歳くらいまで、ほとんどピアノ曲ばかりを作曲していた。「幻想曲」は20代後半の作で、すでに「子供の情景」「楽内祭」といった名作を書いたあとの、「クライスレリアーナ」と並ぶ傑作である。タイトル通り、自由なスタイルで書かれている。ちょうど没後10年となったベートーヴェンを顕彰する像の建立を記念して作曲された。

19世紀のヨーロッパは、産業・経済が大いに発展した。「ブルジョア」「中産階級」の家庭には、たいてい、革履の百科事典やゲーテ全集を並べた書棚があり、ステータス・シンボルとしてのピアノが置かれたようになる。弾くのはもちろん、その家の娘である。この頃にヨーロッパで書かれた小説の主人公の半分はピアノをたしなむ、という。われわれの「ピアノ」のイメージは、この時代に由来するところが多い。広い音域やペダル効果は、まさにこの「過剰時代」の響きである。

I：「きわめて幻想的」：情熱的に：音階的に：音階的に：最初のテンポで
愉快に満ちて始まるが、頓挫に転調し、不安定な調性感が将来への不安を映し出す。
II：「中庸に：非常に精力的に」ややゆったりきわめて活発に
行進曲風に始まる。シューマンによれば、第一楽章が若年期の理想であるのに対して、第二楽章は、壮年期の自信にあふれた風情である。
III：「ゆっくりと：常に静けさをもって」や「活発に」
終楽章は、しっとりとした緩徐楽章。人生に成功した人の、満ち足りた晩年を表象する。静かに、余韻を残して終わる。

G.U.Fauré (1845-1924)

フランスの大作作曲家フォーレは、色彩豊かで繊細な作品を多く残した。大規模なオーケストラ曲はそれほど作曲しておらず、むしろ、ピアノや室内楽に較ぶるの作が揃っている。フランス工芸のエミール・ガレや作家のブルースなど、世紀末のアール・ヌーヴォーの芸術と共通する、感覚的で曲線的な表現が魅力である。

「主題と変奏」嬰ハ短調 Op.73
フォーレ50歳、1885年のやや大規模で、円熟した作品。一般的なフォーレのイメージからすると、しっかりとした構造的な作品に聴こえるかもしれない。ピアノの巨匠コルトーは、「この作品の音楽的な豊かさ、表現の深さ、器楽的内容の質の高さは、あらゆる時代のピアノ音楽のうち、最も稀有で最も高貴な記念曲の一つである」と絶賛している。

「舟歌」第1番 イ短調 作品26
ショパンの作品でも有名な「舟歌」のジャンルで、フォーレは13曲もの珠玉の作品を書いた。心に浮かんで消える波の音、大海原の力強い歌。1881年に書かれた第1番は、とりわけ人気のある名曲で、ヴェネチアへの憧れを表現しているという。

「即興曲」第2番 へ短調 作品31
クラシック風には不思議な旋回をしながら昂り始めると、小さいながらも麗しい「花開け」の曲。フォーレの10歳年上の先輩にあたる、ピアノのヴィルトゥオーソ（名人芸をもつ巨匠）であったサン＝サーンスによって、1885年に初演された。

M.Ravel (1875-1937)

ラヴェル
「ラ・ヴァルス」

ラヴェルはフランスで活躍した作曲家だが、フランス・スペイン両国の領土にまたがり、独特の文化を持つバスク地方で生まれた。彼の音楽のめくめく色と光は、青い空が目に沁みる、南国バスクならではのものであろう。彼は、一度聴いたメロディは二度と使用しないなど、お洒落にも独特なこだわりがあったという。

「ラ・ヴァルス」とは、フランス語で「ワルツ」を意味する。ピアノの表現力と技巧を極限まで追求したこの華麗なピースは、まず、オーケストラのための舞踏音楽として作曲され、のちにラヴェル自身がピアノソロに編曲した(1920年)。初演には、ラヴェルによる次のような説明がある。

「満ちる雲の中から、ワルツを踊る男女がすかすかに浮かび上がってくる。雲が次第に晴れ上がる。満ちる群衆で埋め尽くされたダンス会場が現れ、その光景が少しずつ揺られる。後半では、フォルティシモでジャン・ド・ラ・リガの光がさざめく。1885年頃のオーストリア宮廷が舞台である。」

Minako KISHI PIANO RECITAL

岸 美奈子 ピアノ・リサイタル
MOZART / SCHUMANN / FAURÉ / RAVEL

2008
6/1 SUN

午後1時30分開場
午後2時開演
王子ホール
全席自由 [当日券] ¥3,500円
[前売券] ¥3,000円

主催：岸美奈子・リサイタル実行委員会
後援：ヨネックス株式会社
ロシア連邦大使館
東京藝術大学音楽学部 同声会東京支部

MOZART / Piano Sonata No.10 in C major K.330(300h)
R. SCHUMANN / Fantasie in C major Op.17
FAURÉ / Thème et variations in C sharp minor Op.73
FAURÉ / Barcarolle No.1 in A minor Op.26
FAURÉ / Improromptu No.2 in F minor Op.31
RAVEL / La Valse

